

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	亀田医療技術専門学校
設置者名	学校法人鉄蕉館

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	看護学科	夜・通信	9 単位	9 単位	
	助産学科	夜・通信	3 単位	3 単位	
	介護福祉学科	夜・通信	6 単位	6 単位	
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

シラバス（履修の手引き）閲覧、ホームページ掲載 URL http://www.kameda-i.ac.jp

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	亀田医療技術専門学校
設置者名	学校法人鉄蕉館

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ掲載URL http://www.kameda-i.ac.jp

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	(株) 日本経営 名誉会長	2021年4月1日～ 2025年3月31日	経営相談
非常勤	(株) オービック 取締役相談役	2021年4月1日～ 2025年3月31日	財政支援
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	亀田医療技術専門学校
設置者名	学校法人鉄蕉館

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>年度末には授業科目の担当講師を中心として授業計画の見直しがされる。それを会議により承認を受けシラバス改定等を進める。</p> <p>シラバスは講師名、単元名、単元時間、到達目標、授業内容、評価方法、使用する教科書や参考書等を記載し作成をされる。また、担当教員の実務経験とどのような授業を行うかは別表にて明記されている。</p> <p>シラバスは、学生・講師に配布をすることはもちろんのこと、希望者が閲覧できるように学校内に配備されている。</p>	
授業計画書の公表方法	ホームページに掲載する。URL http://www.kameda-i.ac.jp
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

学修成果として科目の終了後筆記試験等を施行し点数化される。また、技術の評価においても技術試験を施行し点数化される。それらの点数をもとに学科による実習評価会議・卒業認定会議・進級認定会議等の評価会議を開催し、教員の総意のもと認定される。認定された成績を評定基準に基づき履修認定書を作成している。

<評定基準>

看護学科

AA (90～100点)	合格
A (80～89.9点)	合格
B (70～79.9点)	合格
C (69.9点以下)	不合格

助産学科

AA (90～100点)	合格
A (80～89.9点)	合格
B (70～79.9点)	合格
C (60～69.9点)	合格
D (59.9点以下)	不合格

介護福祉学科

AA (90～100点)	合格
A (80～89.9点)	合格
B (70～79.9点)	合格
C (60～69.9点)	合格
D (59.9点以下)	不合格

<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績評価として、数値化された試験結果を評定基準に沿って作成し指標としている。</p> <p>評定基準は、看護学科、AA～Cの4段階とし、それぞれの段階における割合を作成している。今後は4段階の割合をホームページに公表していく予定である。</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr><td>AA (90～100点)</td><td>合格</td></tr> <tr><td>A (80～89.9点)</td><td>合格</td></tr> <tr><td>B (70～79.9点)</td><td>合格</td></tr> <tr><td>C (69.9点以下)</td><td>不合格</td></tr> </table> <p>助産学科は、AA～の5段階とし、それぞれの段階における割合を作成している。今後は5段階の割合をホームページに公表していく予定である。</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr><td>AA (90～100点)</td><td>合格</td></tr> <tr><td>A (80～89.9点)</td><td>合格</td></tr> <tr><td>B (70～79.9点)</td><td>合格</td></tr> <tr><td>C (60～69.9点)</td><td>合格</td></tr> <tr><td>D (59.9点以下)</td><td>不合格</td></tr> </table> <p>介護福祉学科は、AA～の5段階とし、それぞれの段階における割合を作成している。今後は5段階の割合をホームページに公表していく予定である。</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr><td>AA (90～100点)</td><td>合格</td></tr> <tr><td>A (80～89.9点)</td><td>合格</td></tr> <tr><td>B (70～79.9点)</td><td>合格</td></tr> <tr><td>C (60～69.9点)</td><td>合格</td></tr> <tr><td>D (59.9点以下)</td><td>不合格</td></tr> </table>	AA (90～100点)	合格	A (80～89.9点)	合格	B (70～79.9点)	合格	C (69.9点以下)	不合格	AA (90～100点)	合格	A (80～89.9点)	合格	B (70～79.9点)	合格	C (60～69.9点)	合格	D (59.9点以下)	不合格	AA (90～100点)	合格	A (80～89.9点)	合格	B (70～79.9点)	合格	C (60～69.9点)	合格	D (59.9点以下)	不合格
AA (90～100点)	合格																												
A (80～89.9点)	合格																												
B (70～79.9点)	合格																												
C (69.9点以下)	不合格																												
AA (90～100点)	合格																												
A (80～89.9点)	合格																												
B (70～79.9点)	合格																												
C (60～69.9点)	合格																												
D (59.9点以下)	不合格																												
AA (90～100点)	合格																												
A (80～89.9点)	合格																												
B (70～79.9点)	合格																												
C (60～69.9点)	合格																												
D (59.9点以下)	不合格																												

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業認定会議は、学則による規定に基づく構成員により開催される。そして、単位の修得状況、出席状況等の卒業認定に関わる事項を検討し認定をする。</p> <p>卒業の単位認定条件として科目の出席時間が2/3以上であること、看護学科は科目B以上の評定であること、助産学科、介護福祉学科は科目C以上、実習については合格の評定であることを学則に明記し、ホームページに学則を公表していく。また、学生が在籍中に身に着けるべき資質・能力に関する目標をホームページに公表していく。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>ホームページにて公表する。URL http://www.kameda-i.ac.jp</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	亀田医療技術専門学校
設置者名	学校法人鉄蕉館

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ掲載 URL http://www.kameda-i.ac.jp
収支計算書又は損益計算書	ホームページ掲載 URL http://www.kameda-i.ac.jp
財産目録	ホームページ掲載 URL http://www.kameda-i.ac.jp
事業報告書	ホームページ掲載 URL http://www.kameda-i.ac.jp
監事による監査報告（書）	ホームページ掲載 URL http://www.kameda-i.ac.jp

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報 看護学科

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		専門	看護学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	102 単位	69 単位	0 単位	33 単位	0 単位	0 単位
			102 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240 人		226 人	2 人	15 人	60 人	75 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）年度末に授業計画の見直しが行われ、会議による承認を受けてシラバス改定が行われる。シラバスには、講師名、単元名、単元時間、到達目標、授業内容、評価方法、使用する教科書や参考書が記載される。また、別表に担当教員の実務経験も明記されている。
成績評価の基準・方法
（概要）成績評価は、出席時間、学科目試験、実習評価を持って行う。学科目試験結果は、成績評定基準に基づき看護学科、AA から C の 4 段階に分類される。そして、B 以上を合格とする。実習科目の評価は、合否で表す。
卒業・進級の認定基準
（概要）卒業・進級の認定基準は、学科目の出席時間が 2/3 以上であること、看護学科、学科目 B 以上の評定を合格とする。実習科目の評価は、合格の評定であること。その結果から学則規定による構成員によって開催された会議で認定され決定する。
学修支援等
（概要）教員により年 2 回以上の面接が実施され、成績結果や学習態度等を基に学生と話し合い支援を行っている。また、特に成績不良者については、教員会議で支援方法について検討され実施される。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
86人 (100%)	3人 (5.4%)	82人 (91.9%)	1人 (2.7%)
（主な就職、業界等） 看護師			
（就職指導内容）主な就職先としては、実習を行った施設に多く就職する。学生からの就職に関する相談機能として学習担当者がおり、相談内容に応じて支援をしている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 看護師			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
240人	8人	3.3%
（中途退学の主な理由） 成績不振、進路変更、病気		
（中退防止・中退者支援のための取組） 教科の補習、実習の支援、相談を受ける。		

①学科等の情報 助産学科

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		専門	助産				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	34単位	22 単位	0 単位	12 単位	0 単位	0 単位
			34 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		13人	0人	3人	33人	33人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）年度末に授業計画の見直しがされ、会議による承認を受けてシラバス改定が行われる。シラバス（履修の手引き）には、講師名、単元名、単元時間、到達目標、授業内容、評価方法、使用する教科書や参考書が記載される。また、別表に担当教員の実務経験も明記されている。
成績評価の基準・方法
（概要）成績評価は、出席時間、学科目試験、実習評価を持って行う。学科目試験結果は、成績評定基準に基づき AA から D の 5 段階に分類される。そして、C 以上を合格とする。実習科目の評価は、合否で表す。
卒業・進級の認定基準
（概要）卒業・進級の認定基準は、学科目の出席時間が 2/3 以上であること、AA から D の 5 段階に分類される。そして、C 以上を合格とする。実習科目は合格の評定であること。その結果から学則規定による構成員によって開催された会議で認定され決定する。
学修支援等
（概要）教員により年 2 回以上の面接が実施され、成績結果や学習態度等を基に学生と話し合い支援を行っている。また、特に成績不良者については、教員会議で支援方法について検討され実施される。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
13 人 (100%)	0 人 (0%)	13 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 助産師			
（就職指導内容） 主な就職先としては、実習を行った施設に多く就職する。学生からの就職に関する相談機能として学習担当者がおり、相談内容に応じて支援をしている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 助産師			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
13 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 教科の補習、実習の支援、相談を受ける。		

① 学科等の情報 介護福祉学科

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		専門	介護福祉学科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	84 単位	72 単位	4 単位	8 単位	0 単位	0 単位
			84 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		50人	37人	4人	17人	21人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）年度末に授業計画の見直しがされ、会議による承認を受けてシラバス改定が行われる。シラバスには、講師名、単元名、単元時間、到達目標、授業内容、評価方法、使用する教科書や参考書が記載される。また、別表に担当教員の実務経験も明記されている。
成績評価の基準・方法
（概要）成績評価は、出席時間、学科目試験、実習評価を持って行う。学科目試験結果は、成績評定基準に基づき AA から D の 5 段階に分類される。そして、C 以上を合格とする。実習科目の評価は、可否で表す。
卒業・進級の認定基準
（概要）卒業・進級の認定基準は、学科目の出席時間が 2/3 以上であること、AA から D の 5 段階に分類される。そして、C 以上を合格とする。実習科目の評価は、合格の評定であること。その結果から学則規定による構成員によって開催された会議で認定され決定する。
学修支援等
（概要）教員により年 2 回以上の面接が実施され、成績結果や学習態度等を基に学生と話し合い支援を行っている。また、特に成績不良者については、教員会議で支援方法について検討され実施される。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
15人 (100%)	0人 (0%)	15人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 介護施設			
(就職指導内容) 主な就職先としては、実習を行った施設に多く就職する。学生からの就職に関する相談機能として学習担当者がおり、相談内容に応じて支援をしている。			
(主な学修成果（資格・検定等）)			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
33人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 教科の補習、実習の支援、相談を受ける。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護	150,000円	480,000円	200,000円	施設管理費 200,000円
助産	300,000円	720,000円	560,000円	施設管理費 260,000円 実習費 300,000円
介護福祉	120,000円	600,000円	240,000円	施設管理費 120,000円 実習費 120,000円
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) URL http://www.kameda-i.ac.jp		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 自己評価委員会を設置し、年度末に自己評価の実施及び改善案を作成する。自己評価結果・改善案を学校関係者委員会に報告し、教育活動及び学校運営に活用する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
亀田総合病院 看護部	2023年4月1日～ 2025年3月31日	関係業界
亀田総合病院 看護部	2023年4月1日～ 2025年3月31日	卒業生
在学生 保護者	2023年4月1日～ 2025年3月31日	保護者

学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
URL http://www.kameda-i.ac.jp
第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
URL http://www.kameda-i.ac.jp